

STAGE+を楽しむ(329)(HP 収載)

—Orfeo son io—

1. 始めに

前報(328)に引き続き、STAGE+のという古楽のアルバムの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、前報(328)に引き続き Orfeo son io という古楽のアルバムの演奏を選びました。

Orfeo son io

演奏：

ローランド・ビリヤソン(テノール), クリスティナ・プルハール(編曲・ハープ・テオルボ), ラルペツジャータ(アンサンブル)

曲目：

Antonio Brunelli Scherzi, Arie, Canzonette e Madrigali, Op. 10

Non avea Febo ancora (Arr. Pluhar)

ジュリオ・カッチーニ L'Euridice, Scene 2

Al canto, al ballo

クラウディオ・モンテヴェルディ L'Orfeo, SV 318, Act I

Rosa del ciel

クラウディオ・モンテヴェルディ L'Orfeo, SV 318, Act II

Vi ricorda, o boschi ombrosi

Lorenzo Allegri Quinto Ballo detto lo Ninfe di Senna

Canario

Giovanni Priuli Sacrarum concentuum

Sonata prima a due cori

クラウディオ・モンテヴェルディ L'Orfeo, SV 318, Act II

Tu se' morta

ジョバンニ・バッティスタ・ブオナメンテ Sonate et canzoni

Intrada a 6

クラウディオ・モンテヴェルディ L'Orfeo, SV 318, Act III

Sinfonia-Possente spirto

Toccata per l'arpa

Maurizio Cazzati Varii, e diversi capricci per camera, Op. 50

Capriccio in eco (nella grotta)

クラウディオ・モンテヴェルディ L'Orfeo, SV 318, Act III

Orfeo son io

Sol tu, nobile dio

Maurizio Cazzati Trattenimenti per camera, Op. 22

Ballo delle Ombre

Jacopo Peri L'Euridice, Scene 6

Gioite al canto mio (Arr. Pluhar)

Maurizio Cazzati Trattenimenti per camera, Op. 22

Capriccio sopra 12 note

クラウディオ・モンテヴェルディ L'Orfeo, SV 318, Act IV

Qual onor di te fia degno

サルトリオ L'Orfeo, Act III

Rendetemi Euridice

クリストフ・ヴィリバルト・グルック Orfeo ed Euridice, Act II

Mille pene

クリストフ・ヴィリバルト・グルック Orfeo ed Euridice, Act III

Che far? senza Euridice? (Arr. Pluhar)

カルロス・ガルデル Sus ojos se cerraron (Arr. Pluhar)

ルイス・ボンファ Black Orpheus

Manana de Carnaval



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結しています。

また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN iPurifier Pro の交換後に元に戻しています。

今回は、PC の受信からクロック入力 of 修理済の Brooklyn DAC+ に送り出しています。

また、PC と Brooklyn DAC+ の間の介在は、iPurifier USB からインフラノイズの USB アキュライザーに交換しています。クロック入力は ABS-7777 を適用しています。

テノールのビリャソンが、プルハールのハーブやテオルボと古楽アンサンブルのラルペッジャータをバックに、モンテヴェルディ他イタリアの古楽を披露します。

ハーブやテオルボ以外の古楽器は、定かではありませんが、器楽曲もあって、エキゾチックな音色の演奏が聴けます。モンテヴェルディは 16 世紀から 17 世紀にかけて活動した作曲家ですが、その後も同時代の作曲家と思われます。

歌唱は独特の哀愁を帯びた表情であり、器楽は、撥弦楽器、擦弦楽器、管楽器とも現代楽器にはない独特の音色を出しています。

4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+ に送り出し、PC と Brooklyn DAC+ の間には USB アキュライザーに交換した結果、16 世紀から 17 世紀にかけての古楽の独特の哀愁を帯びた歌唱や撥弦楽器、擦弦楽器、管楽器とも現代楽器にはない独特の音色が聴けました。

以上